

Spain your partner in Europe

スペインへの投資機会 2018

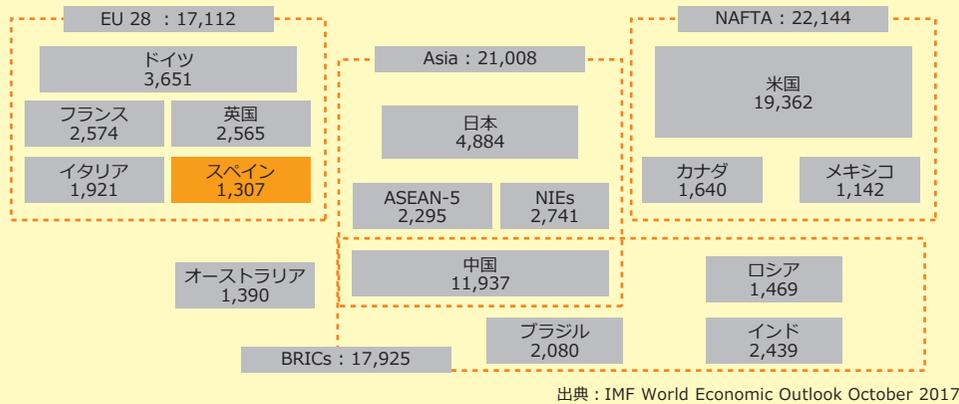


グローバル市場におけるビジネスパートナー：スペイン

● 欧州第5位の経済大国スペイン

スペインは欧州第5位の経済大国で、ユーロ圏19カ国の約10%の経済規模を有しています。世界的な景気低迷や欧州金融不安により続いたスペインのマイナス成長も、2014年以降はプラスに転じ、実質経済成長率3%以上とユーロ圏平均以上の経済成長率まで回復しました。ユーロ危機後の財政危機及び改善プログラムで、労働市場改革や公的セクターのスリム化、年金制度改革など一連の改革によりスペイン投資環境が改善され、経済成長に繋がることが期待されています。

● 国・経済圏別のGDP比較 (2017年、10億ドル)



● 国別GDPランキング (2017年)

順位	国名	10億ドル
1	米国	19,362
2	中国	11,937
3	日本	4,884
4	ドイツ	3,651
5	フランス	2,574
6	英国	2,565
7	インド	2,439
8	ブラジル	2,080
9	イタリア	1,921
10	カナダ	1,640
11	韓国	1,529
12	ロシア	1,469
13	オーストラリア	1,390
14	スペイン	1,307
15	メキシコ	1,142

出典：IMF World Economic Outlook October 2017

● 実質GDP成長率の推移 (2017年)



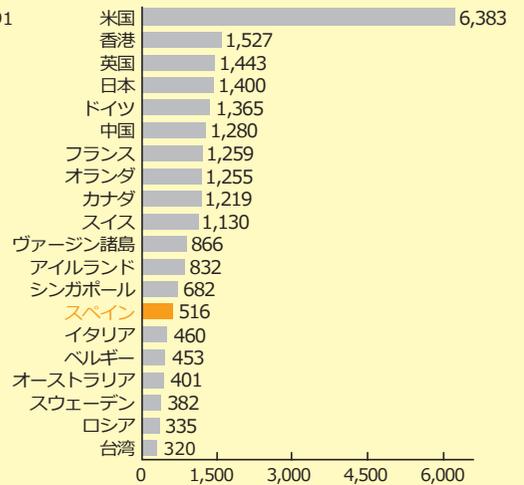
● 投資受入国から投資国へ

コスト競争力や国内市場の潜在成長性から「欧州の戦略的生産・輸出国」として位置づけられてきたスペインは世界でも有数の投資受入大国といえます。さらにスペイン企業による対外投資も活発で、主に中南米市場を中心とした電力、通信、水処理など社会インフラ分野や金融・保険分野でスペイン企業のグローバル化が進んでいます。

● 対内投資残高 (2016年、10億ドル)



● 対外投資残高 (2016年、10億ドル)



● グローバル市場のパートナー；スペイン

製造業（自動車・電気・化学など）への直接投資受入れが中心だったスペインは、欧州に於ける戦略的な生産・輸出拠点と位置づけられていました。昨今ではスペイン企業との提携を通じて欧州、中南米及びアフリカなど第三国市場への事業展開をはかる日系企業の投資事例が増えてきています。



グローバル市場におけるビジネスパートナー：スペイン

魅力的な事業環境

欧州市場におけるスペイン：比較優位性

欧州 28 カ国中、GDP 規模でドイツ、イギリス、フランス、イタリアに次ぐ第 5 位の経済規模を持つスペイン。その市場規模のみならず、労働の質やコスト競争力、そして優遇税制や各種インセンティブなどにより魅力的な事業環境を提供しています。

	スペイン	EU(28)
人口 (2017年1月)	4,652 万人	5 億 1,152 万人
GDP (2016年)	1 兆 1,636 億ユーロ	15 兆 3,242 億ユーロ
一人当たりの GDP (2016年)	24,500 ユーロ	27,600 ユーロ
輸出 (2016年)	2,584 億ユーロ	2 兆 1,112 億ユーロ
輸入 (2016年)	2,766 億ユーロ	2 兆 972 億ユーロ
対日輸出 (2016年)	23 億 8,038 万ユーロ	621 億 3,338 万ユーロ
対日輸入 (2016年)	27 億 2,878 万ユーロ	629 億 3,001 万ユーロ

出典：Eurostat, JETRO / CIA World Fact Book

外国人観光客数

国	2017 (百万人)
1 フランス	82.6
2 米国	75.6
3 スペイン	75.6
4 中国	59.3
5 イタリア	52.4
6 英国	35.8
7 ドイツ	35.6
8 メキシコ	35.0
9 タイ	32.6
10 トルコ	31.0

観光による外貨収入

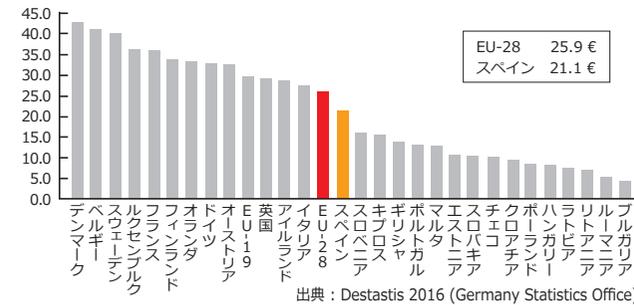
国	2017 (10億ドル)
1 米国	205.9
2 スペイン	60.3
3 タイ	49.9
4 中国	44.4
5 フランス	42.5
6 イタリア	40.2
7 英国	39.6
8 ドイツ	37.4
9 香港	32.9
10 オーストラリア	32.4

出典：WTO Tourism Highlights 2017

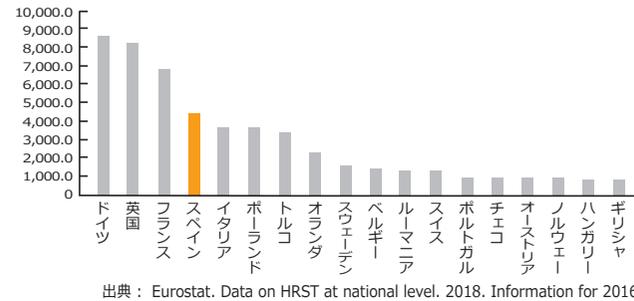
魅力的な労働コストとパフォーマンス

労働コストだけを比べれば、中東欧諸国も魅力的ですが、コストパフォーマンスではスペインが断然有利といえます。「労働生産性と教育水準の高さに比べ賃金水準が低いので、コストパフォーマンスが良好」—某日系メーカー現地法人トップのこの言葉は、スペインが「ものづくり」に適した国であることを物語っています。

● 労働コストの比較 (2015年, EUR / 時間)

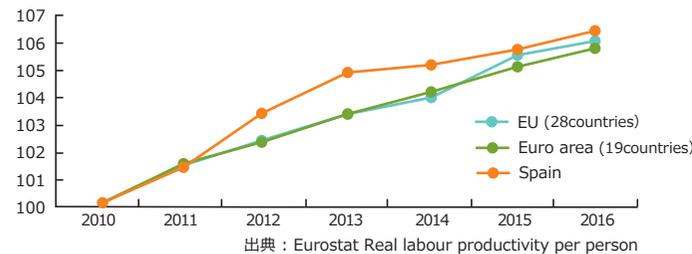


● 科学技術分野の高等教育を受けた人数・割合 (2016年, 千人)



出典：Eurostat. Data on HRST at national level. 2018. Information for 2016

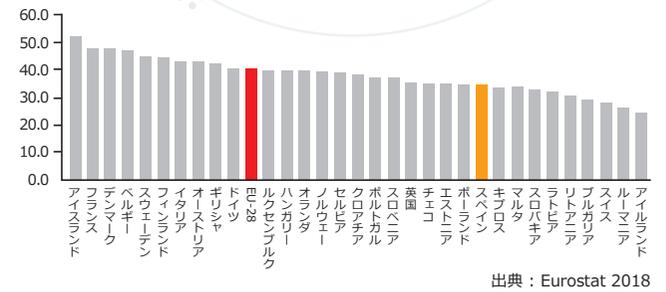
● 労働生産性 (前年同期比)



出典：Eurostat Real labour productivity per person

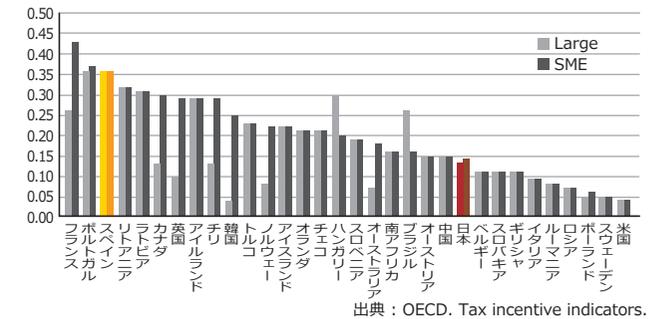
優遇税制と投資インセンティブ

● 租税負担率 (2016年, %)



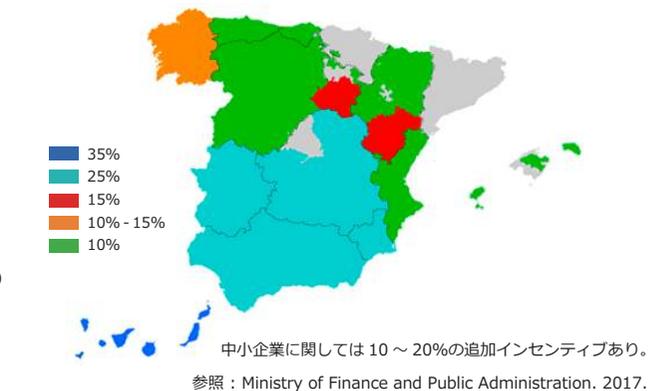
出典：Eurostat 2018

● R&D 税額控除



出典：OECD. Tax incentive indicators.

● 地域別の補助金支給率 (2017～2020年・最大)





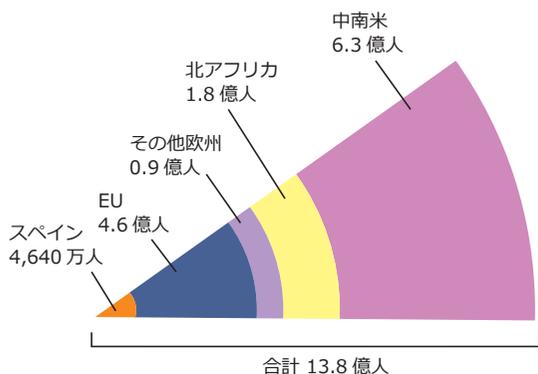
グローバル市場におけるビジネスパートナー：スペイン

第三市場へのアクセス

13.5 億人の巨大市場へのアクセス

スペインに足場を持つことで、国内市場と EU 市場、さらには北アフリカや中南米までを視野に入れた事業展開が可能です。なかでも、同じスペイン語圏である中南米諸国とは、歴史的にも文化的にも近い関係にあります。こうした利点を生かし、グローバル展開や中南米市場向け展開の統括拠点をスペインに移転するケースが増えています。

● 地域別市場規模



注) EU はスペインを、その他欧州はロシアを、北アフリカはスーダンをそれぞれ除く
出典：Population Reference Bureau の推定データに基づき作成 (2015 年)

● 各言語人口

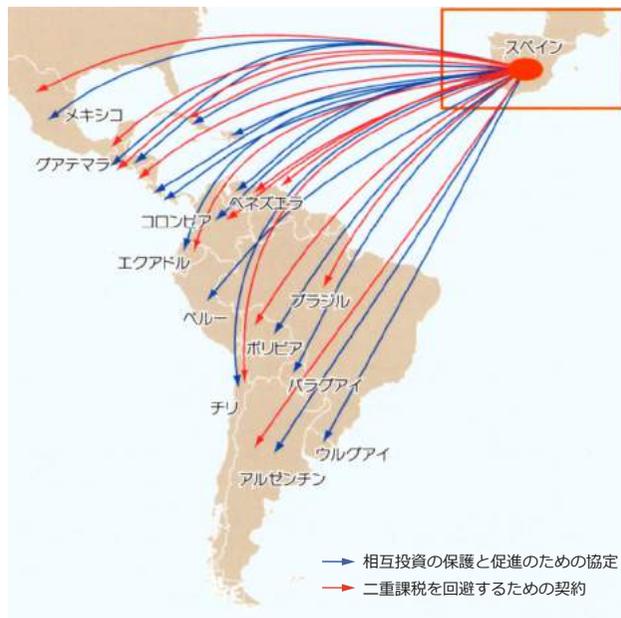
	2013 年	2030 年	2050 年
スペイン語人口	4 億 9,500 万人	5 億 3,500 万人	5 億 5,000 万人
中国語人口	8 億 8,300 万人	10 億 3,400 万人	11 億 6,600 万人
英語人口	3 億 4,300 万人	4 億 200 万人	4 億 5,300 万人

※スペイン語はセルバンテス文化センターによる。

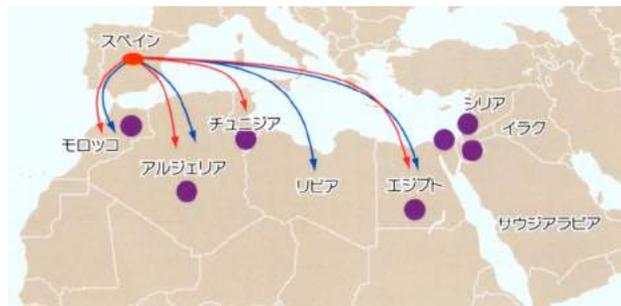
※母国語統計はほとんどないため、次の CIA の母国語比率をパラメタとし、世界の人口推計値から逆算。

※中国語・英語は CIA の母国語使用比率と、UN の世界人口推計のデータを基に作成。

● 中南米へのアクセス



● 北アフリカ諸国へのアクセス



● ユーロ・地中海連合協定

→ 相互投資の保護と促進のための協定

→ 二重課税を回避するための契約

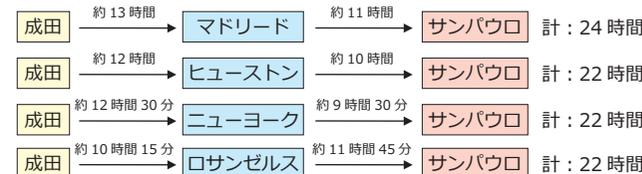
● 日本⇄スペインの直行便就航

イベリア航空は現在週 3 便就航させているマドリード～成田間の直行便を、2018 年 10 月 20 日から週 5 往復に増便すると発表しました。日本とスペインを繋ぐ唯一の直行便ですが、輸送力の増強により日本市場の強化を目指します。スペイン観光庁によれば、近年スペインを訪問する日本人の数が急増しており、2017 年には 44 万 2132 人を記録しました。一方、日本政府観光局 (JNTO) によると、日本を訪問するスペイン人の数は 2017 年には前年比 8.8% 増の 9 万 9,900 人となりました。

スペインを経由した中南米戦略：事例

スペインに子会社 (生産拠点) を持つ化学系の日系企業 A 社は、スペインを介して中南米に現地法人を設立しました。そのメリットとしてまず、言語及び地理的メリット*、そしてスペイン系ネットワークによる情報収集力の高さを挙げています。また、同じ言語を解する人材、特に優秀な技術者を確保できるのはスペインの強みです。日本における JETRO の如く、ICEX、IVEX など、スペイン政府及び州政府からの強いサポートも期待できます。スペイン企業は中南米で非常に高いプレゼンスを示していることも、メリットといえます。

* スペインの首都マドリードは、中南米から欧州へのメインゲートといわれています。



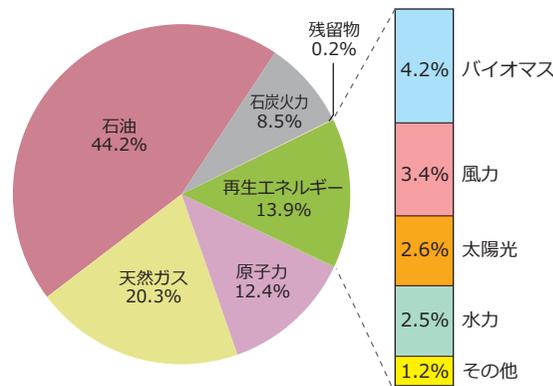


グローバル市場におけるビジネスパートナー：スペイン クリーンエネルギー分野

観光先進国から環境先進国へ

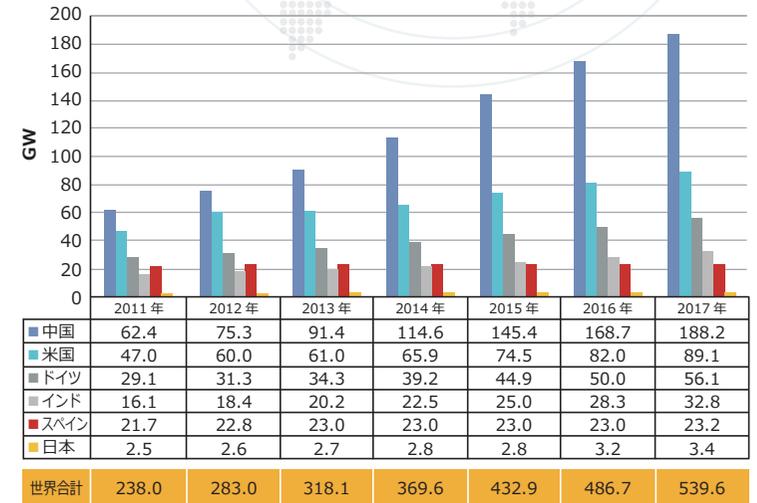
スペインは石油や天然ガスなど化石燃料の輸入依存度が高く（輸入比率 98%）、自給可能な再生可能エネルギーの導入が進められてきました。欧州共通の環境目標である「トリプル 20」（①2020 年までに温室効果ガスを 90 年比で 20%削減、②再生可能エネルギーの比率を 20%に高める、③エネルギー効率を 20%改善する）に歩調を合わせた結果、電源構成に占める再生可能エネルギーの比率 40%（小水力を含む）に達しました。また、クリーンな電源として原子力発電のウエイトも高く（全発電の 20%）、この分野に関しては、原子炉廃炉後のバックエンド分野（放射性廃棄物の運搬や貯蔵、また、放射性汚染の除去技術など）の面で日本との協力関係が期待されています。

● 一次エネルギーに占める電源シェアと再エネの内訳
(2017 年実績, 単位: %)



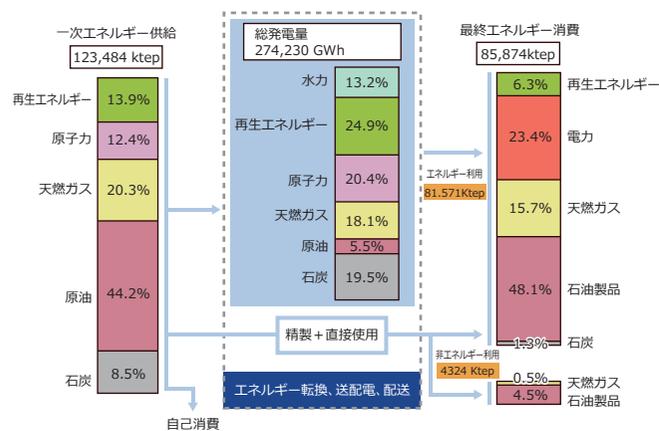
出典：Ministry of Energy, Tourism and Digital Agenda

● 風力発電導入量の国別推移 (累積, 単位: GW)



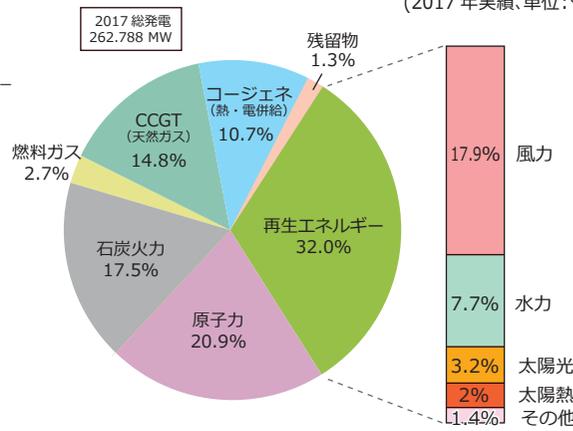
出典：World Wind Energy Association

● 電源別エネルギー



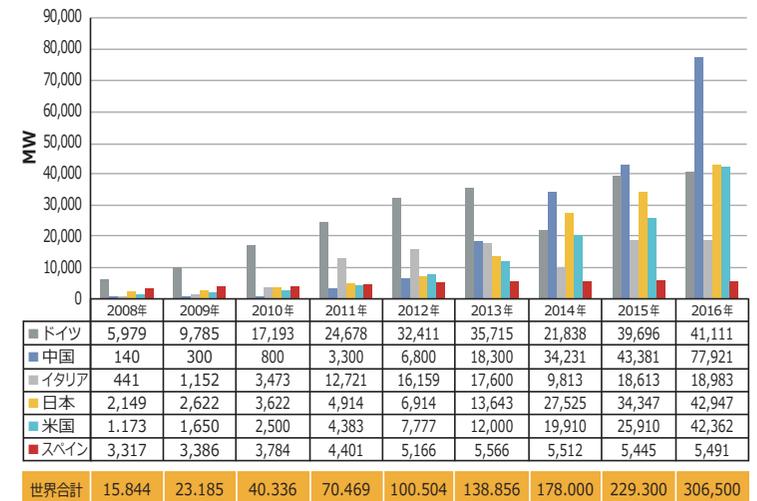
出典：Ministry of Energy, Tourism and digital Agenda, Spanish Electric Grid

● 総発電に占める電源シェアと再エネの内訳
(2017 年実績, 単位: %)



出典：Red Eléctrica de España

● 太陽光発電導入量の国別推移 (単位: MW)



出典：European Photovoltaic Industrial Association. Solarpower Europe. Market global outlook 2017

グローバル市場におけるビジネスパートナー：スペイン 自動車分野

整備された自動車産業インフラ

スペインはドイツに次ぐ欧州第2位の自動車生産大国で、ルノー、フォード、日産自動車など多国籍カーメーカー9社(生産拠点数:17ヶ所)を構えています。スペインで生産される自動車のほぼ90%は欧州を中心として海外市場へ輸出されており、輸出総額に占める自動車の割合も10%を超えます。また、自動車部品産業の売上げも欧州第2位で、その内の60%以上が世界150カ国以上へ輸出されています。同時に工作機械や金型産業も充実しており、自動車・部品の生産及び周辺機器と三位一体となった自動車インフラが整備されているといえます。

● スペインの自動車産業 (EU との比較)

単位：台

	スペイン		EU	
	2016年	2017年	2016年	2017年
生産台数	2,885,922	2,848,335	18,806,644	18,768,153
乗用車	2,354,117	2,291,492	16,887,225	16,973,088
商用車	531,805	556,843	1,919,419	1,795,065
販売台数	1,347,344	1,451,090	17,568,449	18,147,636
乗用車	1,147,007	1,235,327	15,160,239	15,659,624
商用車	200,337	215,763	2,408,210	2,488,012

出典：OICA - Organisation Internationale des Constructeurs d'Automobiles

● 自動車部品事例

● ゲスタンプ + 三井物産

自動車向けプレス部品最大手のゲスタンプ・オートモション社は世界で約100箇所に工場を持つグローバル企業です。2016年には三井物産から約470億円の出資(同社株12.5%相当)を得、日本及びアジアの自動車メーカーとの取引を拡大しています。又、2017年2月には、三重県松阪市に日本初の工場の設置を決めました。工場面積は1万5000平方メートルで投資額は75億円。同社が得意とする「ホットスタンプ」という技術を活用し、薄くて丈夫な鋼板を効率よく生産し、日本自動車メーカーへの供給強化をはかります。

ホットスタンプ鋼材は燃費向上や排ガス削減に欠かせない車体の軽量化につながるため、鉄に代わる材料としてアルミや炭素繊維と共に需要が増えています。欧米市場など先進国を始めとして世界的に環境規制が厳しくなる中、プレス最大手のゲスタンプ社も日本市場に生産拠点を構えることで益々の受注拡大を目指しています。

● フィコサ・インターナショナル + パナソニック

自動車用システムや樹脂部品の研究、開発、生産およびマーケティングを行うグローバルTier1サプライヤーのフィコサ・インターナショナルは、パナソニックと資本業務提携に合意しました。同社の主力であるミラー事業においてパナソニック社と包括的な協業を推進し、将来的には先進運転支援システム(ADAS: Advanced Driver Assistance System)分野への参入を目指しています。

- ▶ スペインは世界第8位/欧州第2位の自動車生産国
- ▶ 欧州第1位の商用車生産国

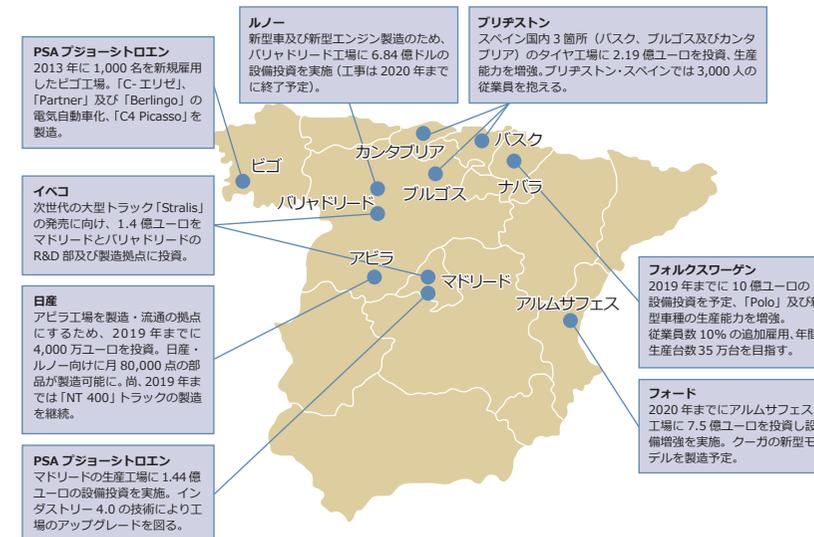
● 自動車生産台数ランキング (国別)

単位：台

順位	国	2015年			2016年			2017年		
		乗用車	商用車	合計	乗用車	商用車	合計	乗用車	商用車	合計
1	中国	21,079,427	3,423,899	24,503,326	24,420,744	3,698,050	28,118,794	24,806,687	4,208,747	29,015,434
2	米国	4,163,679	7,936,416	12,100,095	3,934,357	8,263,780	12,198,137	3,033,216	8,156,769	11,189,985
3	日本	7,830,72	1,447,336	9,278,238	7,873,886	1,330,704	9,204,590	8,347,836	1,345,910	9,693,746
4	ドイツ	5,707,938	325,226	6,033,164	5,746,808	315,754	6,062,562	5,542,971	583,235	6,126,206
5	インド	3,378,063	747,681	4,125,744	3,677,605	811,360	4,488,965	3,952,550	830,346	4,782,896
6	韓国	4,135,108	420,849	4,555,957	3,859,991	368,518	4,228,509	3,735,399	379,514	4,114,913
7	メキシコ	1,968,054	1,597,415	3,565,469	1,993,168	1,604,294	3,597,462	1,900,029	2,168,386	4,068,415
8	スペイン	2,218,980	514,221	2,733,201	2,354,117	531,805	2,885,922	2,291,492	556,843	2,848,335
9	ブラジル	2,018,954	410,509	2,429,463	1,778,464	377,892	2,156,356	2,269,468	430,204	2,699,672
10	フランス	1,553,800	416,200	1,970,000	1,626,000	456,000	2,082,000	1,748,000	479,000	2,227,000

出典：OICA - Organisation Internationale des Constructeurs d'Automobiles
出典：ACEA - European Automobile Manufacturers Association

● 新規投資誘致地域



グローバル市場におけるビジネスパートナー：スペイン

スタートアップ分野

スタートアップ分野

外国投資を積極的に誘致することで国内経済の活性化を図ってきたスペイン。経済の成熟度により、その投資形態もグリーンフィールド（60年以降）～M&A（2000年以降）へと変化してきました。そして昨今では投資ファンドやCVC（コーポレートベンチャーキャピタル）によるスタートアップ企業への投資が増える傾向にあります。

スペインは現在、スタートアップ企業への投資金額では英国、ドイツ、フランス、スウェーデンに次いで欧州第五位で、特に第二の都市バルセロナでの起業が増えています。同国のスタートアップ企業は主にe-Commerceやe-Learningなどのデジタル系が主流で、最近ではフィンテックやライドシェア、民泊系のスタートアップも増えています。又、スタートアップ企業投資の約60%は海外投資家により行なわれており、グローバル市場での事業展開を可能としています。



スペイン発スタートアップ企業の特徴：

- 急速な人口増が見込まれる中南米、アフリカ市場などのボリュームゾーンを中心に教育、通信、交通インフラ、フィンテックなど社会インフラ分野を中心に事業展開。
- スタートアップ企業投資の約60%が海外投資家により行なわれています。

スペイン発スタートアップ企業と日系企業との協業事例

● スタートアップ協業事例1：料理レシピサービス

日本最大のレシピサイトを運営するクックパッド株式会社は、スペインのレシピサービス「Mis Recetas」社と提携。「Mis Recetas」社は、クックパッド同様のユーザー投稿型のレシピサービスを提供。Webからの月間利用者数は約6百万人、スマートフォンアプリもスペイン語圏17ヶ国のApp Store「フード/ドリンクカテゴリ」ランキングで1位。同社顧客の7割程度はメキシコ、アルゼンチンなどスペイン以外のスペイン語圏からのアクセスで、今後は4億人が利用する言語であるスペイン語圏でのサービス提供を期待。

● スタートアップ協業事例2：不動産情報サービス

日本最大の不動産物件情報を有するネクスト社（会社名を株式会社LIFULLに変更）は、グローバル事業のパートナーとして世界最大級のアグリゲーションサイトを運営するスペインスタートアップ企業 Trovit 社を買収。同社は現地拠点をおかず、欧州、北米、南米、アジア地域の世界39カ国において、不動産・住宅、中古車、転職情報のアグリゲーションサイト（複数のサイトの情報を集積、サイト利用者が1つのサイトで一括して情報が閲覧できるサイト）を運営。

● スタートアップ協業事例3：ライドシェア

ライドシェアサービスを提供するCABIFYはマドリッド発スタートアップ企業で、当初はシリコンバレーのVCからの出資で事業拡大、更に2015年には楽天株式会社から出資を受けた。CABIFYは「白タク」という分野でなく、ワンランク上のハイヤーとして配車サービスを展開予定。同社は2017年時点で14カ国50都市でサービス提供しており、特に中南米など治安の悪い国では、街中の流しタクシーによる不正請求など問題が多く、同社のサービスの需要が増えている。





グローバル市場におけるビジネスパートナー：スペイン 社会インフラ分野



世界のインフラ市場をリード

民間資金 (PPP: 官民連携) を活用して社会インフラの整備を図るコンセッション。スペイン企業はコンセッション事業にいち早く取り組み、施設の運転や保守に関して必要な経験・技能・知識を獲得してきました。

今日、スペイン企業はコンセッション事業の世界ランキングで他を圧倒しています。同ランキングのトップ 20 のうち、ACS 社、Ferrovial 社、Sacyr Vallehermoso 社、Abertis 社、FCC 社、Acciona 社など計 7 社がスペイン企業。中南米や欧州を中心に、多数のプロジェクトを受注しています。

また、アジアの新興市場であるベトナムやインドネシアなどでも急ピッチで社会インフラ工事が計画されています。スペインのコンセッションナーは海外市場での道路建設や有料道路の料金徴収、メンテナンスに至るまで一貫した事業の経験が豊富です。今後、アジアを含めた海外市場での日本-スペイン企業共同参加が期待されています。

● コンセッションランキング

企業名	国	合計	国内プロジェクト	応札待ち
1 ACS Group / Hotchief	スペイン	59	17	56
2 Vinci	フランス	47	17	15
3 Abertis	スペイン	45	11	14
4 Macquarie	オーストラリア	41	1	3
5 Ferrovial	スペイン	39	11	15
6 Sacyr	スペイン	33	13	7
7 Meridiam	フランス	30	3	9
8 Globalvia	スペイン	27	16	2
12 OHL	スペイン	23	8	10
18 Acciona	スペイン	16	8	7

出典：PWF's International Major Projects database, 1985-2017

● 主なプロジェクト事例

- ▶ スペイン国営鉄道 (Renfe)、鉄道車両メーカーのタルゴ、鉄道インフラ管理公社 (Adif) からスペイン企業 12 社による企業連合は、サウジアラビアのメッカ ~ マディーナ間の 450 キロを結ぶハラマイン高速鉄道 (HHR) の車両供給、鉄道敷設などを受注。受注額は約 67.36 億ユーロ。
- ▶ FCC 社が率いるコンソーシアムがサウジアラビアのリヤドにおける地下鉄 4,5,6 号線建設プロジェクト建設事業を受注、事業費は計 60.3 億ユーロ程度。
- ▶ IBERDROLA 社は英国にて世界最大規模となる 1,200MW の洋上風力発電所 East Anglia 1 の建設・運営事業を受注、事業規模は 50 億ユーロ程度の見込み。
- ▶ ACS 社・FCC 社が参加するコンソーシアムがペルー・リマ市の Ate ~ Callao 間を走る地下鉄 2 号線及び 4 号線の支線建設事業を受注。受注額はおよそ 39 億ユーロ。
- ▶ オーストラリアメルボルンの有料道路 East West Link の建設事業を ACCIONA 社含む企業連合が獲得。プロジェクトの道路は延長 6.6km、4.4km に及び 3 車線の道路 2 本を含み、総事業費は 37 億ユーロ程度になる予定。
- ▶ SACYR 社・INDRA 社らが参加するコンソーシアムは、パナマ運河のアプローチ新水路建設及び既存の水路の新水門・拡張工事事業を受注。受注額はおよそ 24.79 億ユーロ。
- ▶ 欧州で最も環境に配慮した次世代ターミナル第一号といわれるヒースロー空港の T2A ターミナルの建設をスペイン FERROVIAL 社が建設。事業費は約 9 億ユーロとされる。

● 日系企業との共同プロジェクト

- ▶ 2017 年 10 月 双日は、スペイン北西部にあるムガルドス LNG 受入基地の操業会社 Regasificadora Del 社の株式 15% を保有する First State 社の株式 100% を取得。日系商社として初めて、欧州での LNG 受入基地事業に参画します。(同社ホームページ参照)
- ▶ 2017 年 6 月 日本貿易保険は、チリ共和国北部アタカマ砂漠に位置する Huatacondo 太陽光発電プロジェクトに対しマーチ

ャント・パワープラントへのプロジェクトファイナンスに対する保険引受を決定、同プロジェクトには双日・四国電力・Eiffage 社らが結成するコンソーシアムが参加。(NEXI ホームページ参照)

- ▶ 2015 年 3 月 国際協力銀行は、スペイン Abengoa 社の子会社でグループの建設事業を統括する Teyma Gestión de Contratos de Construcción e Ingeniería 社との間で、モロッコ王国アガディールにおいて国内最大の海水淡水化プラントを建設するにあたり、融資金額約 11.5 百万ユーロを限度とするバイヤーズ・クレジットの貸付契約を締結。本件は JBIC がアフリカにおける水インフラ事業を支援する初のプロジェクト。(JBIC ホームページ参照)
- ▶ 2015 年 3 月 三井物産は業界最大手の風力発電用タワー・フランジメーカーであるスペインの GRI Renewable Industries グループを統括する持株会社 Gonvarri Eólica 社への出資を発表。風力発電開発におけるバリューチェーンの拡充、事業基盤の強化を図っています。(同社ホームページ参照)
- ▶ 2014 年 4 月 三菱商事と上組は共同でスペイン・バレンシア港コンテナターミナルを運営する TCV Stevedoring Company 社の発行済み株式 25% を Grup Maritim TCB 社から取得。戦略的提携を組むことで、初めて本格的なコンテナターミナル事業に進出することになりました。(同社ホームページ参照)
- ▶ 2014 年 2 月 伊藤忠商事は、スペイン・カナリア諸島にて上下水道サービスを提供する CANARAGUA CONCESIONES 社の株式 33.4% をスペイン最大の民間水道事業会社であるアグバルの子会社 CANARAGUA 社から取得。民営化の歴史が長く世界有数の水道コンセッション市場とされるスペインに、日本企業として初めて参入を果たしたことになります。(同社ホームページ参照)

■ 在日スペイン大使館 経済商務部

〒106-0032 東京都港区六本木 1-3-29 3階
電話：03-5575-0431 FAX：03-5575-6431
電子メール：tokio@comercio.mineco.es
ウェブサイト：http://www.spainbusiness.jp/